



安全を確保する交通安全指導員

写真左：指導員 松井 雪子さん
写真右：指導員 染川 峯雄さん

交通マナーは年齢とともに悪くなっていくような気がします。

中高生による自転車の並走は危険です。「自動車が避けてくれるだろう」と考えているのでしょうか。

また、つい最近、目の前で若いお母さんが子どもの手を引いて、近くに横断歩道があるにもかかわらず、交通量の多い道路を横断していきましました。慌てていたのかもしれませんが、本来は、お母さんが子どもに危険な行為だと教えなければならないはずです。しかし、目の前でそんなことをしたら子どもはまねをするようになります。

自動車のドライバーに関しては、シートベルトは、ほぼ定着したと思います。しかし、最近は運転しながら携帯電話を使用している人が増えていきますね。慣れてしまったのかもしれませんが、やはり事故を起こす前に止めるのがいいと思います。

交通事故を未然に防ぐには、ほんの少しの気遣いだと思います。

居住自治体別行政処分状況ワースト6

■資料提供 / 県警交通企画課

平成18年中				平成17年中			
順位	自治体名	処分件数	千人当たり 処分件数	順位	自治体名	処分件数	千人当たり 処分件数
1	東白川村	24	12.68	1	川辺町	96	13.65
2	川辺町	88	12.34	2	坂祝町	75	12.97
3	坂祝町	70	11.91	3	七宗町	40	12.36
4	七宗町	36	11.24	4	大野町	187	11.72
5	美濃加茂市	340	9.89	5	岐南町	172	11.38
5	富加町	40	9.89	6	美濃加茂市	382	11.32

居住自治体別行政処分状況ベスト6

■資料提供 / 県警交通企画課

平成18年中			平成17年中		
順位	自治体名	千人当たり 処分件数	順位	自治体名	千人当たり 処分件数
1	飛騨市	5.64	1	関ヶ原町	5.10
2	輪之内町	6.05	2	飛騨市	5.73
3	養老町	6.26	3	富加町	6.24
4	白川村	6.41	4	東白川村	6.29
5	美濃市	6.64	5	八百津町	6.81
6	白川町	6.69	6	笠松町	7.29

※行政処分とは、危険性の高い運転者を道路交通の場から早期に排除するために、交通違反者に対して運転免許の停止や取り消しなどの処分をすることを行います

※千人当たり処分件数の免許人口は、平成17年中は同年12月末現在、平成18年中は同年12月末現在で算出

上記表からも分かるように、平成18年中の県内における行政処分者が多かったワースト6すべてが、加茂署管内の自治体になっています。

加茂署の交通取り締まりが、ほかの警察署と比較して特別厳しいわけではないと聞いています。免許人口の差異はありますが、全体的に交通マナーが悪い地域であると分析できます。



加茂警察署交通課長
高木 幸一 さん

交通事故多発場所ワースト3の共通点は、いずれも橋の近くの交差点だということです。これは、交通集中により交通量が多くなることや交差点が大きいことが要因だと考えられます。現在、加茂署では重大事故につながる飲酒運転に対して、取り締まりを強化しています。ほかの地域と比較しても飲酒事故が多いようです。飲酒運転は、過失ではなく故意なので絶対に許されません。

また、今年になってからの飲酒がらみの逮捕事案5件のうち、3件が外国人でした。この地域は、外国人ドライバーが多いので、外国人にも交通マナーを指導していく必要があります。大切な人を悲しませないように、皆さんマナーの良い運転を心掛けてください。